

# 博学連携講演会

# すみよし南部の10万年

## —大阪平野の形成から大学誕生まで—



依羅池古図 大依羅神社蔵

## 2023年 3月18日 (土)

13:00~17:00 (受付 10:40~)

大阪公立大学 杉本キャンパス  
1号館 140周年記念講堂

参加費 無料  
 定員 120名 (事前申込要/申込多数の場合は抽選)  
 対象 どなたでも

### 講演会参加者に特別公開!!

「大阪市立大学140周年記念展示室」

大学史とともに、古人骨、大阪平野の地下断面図、古文書など大学の研究成果である大阪の自然と歴史に関する資料を展示しています。この機会にぜひ、ご見学ください。

#### 見学時間

- ① 11:00~11:30
- ② 11:40~12:10
- ③ 12:20~12:50



混雑緩和のため、3部に分け要予約・完全入れ替え制にてご案内いたします。記念展示室見学をご希望の方は、講演会お申し込み時に、ご希望の時間をお選びください。ご入室いただける人数に限りがございます。希望時間が集中した場合、ご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

出典：国立国会図書館「NDLイメージバンク」(<https://navi.ndl.go.jp/imagebank/>)

# すみよし南部の10万年

—大阪平野の形成から大学誕生まで—

大阪市博物館協会(現・大阪市博物館機構+大阪市文化財協会)と大阪市立大学は、2011年に包括連携協定を結び、博学連携事業がスタートしました。共同での調査や研究、学生支援、講演会・シンポジウムの開催などを続けており、2022年に開学した大阪公立大学においても、この事業を継承していきます。

大阪市博物館機構・大阪市文化財協会の協力により、2020年11月には、大阪市立大学140周年記念展示室が設置されましたが、これに続き、現在、大学ミュージアム開設の検討が進められています。大学内の学術資料の公開と活用は大きな課題であり、博物館と共通した使命といえるでしょう。

今回、大阪の地形・地質や歴史、大学史を扱った記念展示室をご覧ください。展示内容をふまえ、大学杉本キャンパスのある住吉南部に焦点をあてた講演会を開催します。

**会場** 大阪公立大学 杉本キャンパス 1号館 140周年記念講堂

## JR阪和線

「杉本町駅」  
東改札から  
徒歩約8分

## OsakaMetro

御堂筋線  
「あびこ駅」  
4号出口から南西へ  
徒歩約15分

※会場へのアクセス  
は本学Webサイトも  
ご参照ください。



※会場に駐輪場・駐  
車場はありません。  
公共交通機関をご利用  
ください。



大阪公立大学 杉本キャンパス  
1号館 140周年記念講堂

## 申込方法

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

### Web申し込み 締切:2023年2月24日(金)

申し込みフォームよりアクセスして入力してください。

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-01312.html>

※お申し込み後24時間たっても申込受付完了メール(自動返信)が届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

※携帯キャリアメールを使用する場合は、「omu.ac.jp」のドメインからのメールを受信できるよう設定してください。

### 往復はがき申し込み 締切:2023年2月24日(金)必着

①氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④年齢  
⑤「140周年記念展示室」見学希望の方は、希望の時間帯(複数選択可)を記入し、返信面に返信先住所・宛て名をご記入のうえ、下記宛て先までお申し込みください。

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪公立大学 地域連携センター「博学連携講演会」係

## 注意事項

- ・申込多数の場合は抽選により参加者を決定します。
- ・参加の可否は2023年3月3日(金)までにメール通知または返信用はがき郵送にてお知らせします。
- ・申し込みは1名につき1回限りとなります。1回の申し込みで複数名をまとめて申し込むことはできません。
- ・申し込みの際にお伺いした個人情報は事務連絡やイベントの案内のみに使用します。利用目的以外には一切使用いたしません。

・本講演会は新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催いたします。感染拡大の状況により開催方法の変更または中止の可能性があります。

## 問い合わせ先

大阪公立大学 地域連携センター  
TEL:06-6605-3504(平日 9:00-17:00)  
MAIL:gr-shak-kouza4c@omu.ac.jp

# 大阪平野のなりたち

—第四紀の地形発達と地質形成—

井上 淳 大阪公立大学大学院理学研究科 准教授

私たちが生活する大阪平野はどのようにしてでき、どのような地質からできているのでしょうか？ここでは、大阪平野とその周辺の地形の成り立ちや地形を構成する地質について、第四紀と呼ばれる地質時代の気候や環境などとともに解説します。



約5500年前頃の大阪平野北部の様子

## 上町台地南部の地質となりたち

石井 陽子 大阪市立自然史博物館 主任学芸員

大阪公立大学杉本キャンパスや大阪市立自然史博物館が立地する上町台地南部の地質の特徴やなりたちを、地質調査データやボーリングデータをもとに作成した地質断面図を用いて紹介します。



大阪市立自然史博物館地下の上町層

## 山之内・遠里小野遺跡の発掘調査

—住吉の古代史を復原する—

積山 洋 大阪市文化財協会 学芸員

山之内遺跡は杉本キャンパスを含み、西隣の遠里小野遺跡と一体となって広大な遺跡群を形成しています。発掘調査により、旧石器時代以後、各時代の遺跡が発見されています。古墳時代から奈良時代を中心に、海と陸に開かれた住吉南部の古代史を語ります。



1985年の経済学部棟の調査

## 依網池と五箇庄

岸本 直文 大阪公立大学大学院文学研究科 教授

我孫子台地の東側は古墳時代には依網とよばれ、依網池という広大な溜池がありました。古代には、大和川南の堺市域を含め、摂津国南端の住吉郡大羅郷となり、中世には五箇庄という荘園になります。大和川の付け替えで南北に分断される以前の姿を考えてみたいと思います。



依網池

## 江戸時代の杉本村について

—日本史研究室の調査から—

齊藤 紘子 大阪公立大学大学院文学研究科 准教授

大阪公立大学・大学史資料室には、大学の地元・杉本地域の古文書として「山野家文書」が所蔵されています。日本史研究室では、2022年に大学史資料室と連携して、文書整理や杉本地域の歴史調査を進めました。その成果の一端を紹介します。



杉本村の検地帳

## 大阪商科大学の創設

田中 ひとみ 大阪公立大学大学史資料室 研究員

1935年11月、杉本町において新築学舎竣工式典が挙行されました。新学舎は白い鉄筋コンクリートの近代建築ですが、その周囲は水田や麦畑の広がる田園地帯でした。全国初の市立単科大学として出発した学園の基礎が固まり、充実・発展の緒につこうとしていた当時の大学と地域の様子を紹介します。



大阪商科大学新築学舎竣工記念はがき